

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 431

事務事業名	農道維持管理事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	古場 翼	内線	429

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040103	魅力ある農林水産業の振興
施策		農地の保全と有効活用
関連施策		

会計	1	一般会計
款	6	農林水産費
項	1	農業費
目	5	農地費
事業コード	030000	

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	農道(広域農道等)利用者		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	農道(広域農道・市有農道等約54km)としての機能を維持する。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	除草、舗装補修、側溝補修、側溝浚渫、区画線設置、除雪、交通安全施設設置等を実施する。		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等	大村市法定外公共物管理条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 側溝・路面等の補修工事件数	計画値	17	17	17	17	
		実績値	28	19	9		
	達成度	%	164.7%	111.8%	52.9%		
	② 除草延長	計画値	m	23,000	23,000	23,000	
実績値			20,860	23,877	22,247		
達成度		%	90.7%	103.8%	96.7%		
成果指標	① 苦情件数	計画値	15	12	12	12	
		実績値	件	6.0	14.0	9.0	
	達成度	%	250.0%	85.7%	133.3%		
	②						
達成度		%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	8,418	8,875	10,939	13,023	11,160	11,160	11,160	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	239	359	223	193	178	178	178	
一般財源	8,179	8,516	10,716	12,830	10,982	10,982	10,982	
② 人件費(千円)	3,061	2,871	2,204	2,704	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.36	0.36	0.27	0.36				
時間外勤務(時間)	100	75	150	43				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	11,479	11,746	13,143	15,727				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	活動指標(除草、補修工事)に対し、補修件数及び除草延長は少なくなったが、多様な要望により1件にかかる補修コストが増大している。
事業が抱える問題・課題等	経年劣化により路面補修が必要である箇所などが顕著にみられる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	市民要望の多様化や広域農道、農免農道、市有農道の利用者も多く、維持管理していくうえで削減は難しい。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
多くの市民が利用し、受益者は不特定のため負担割合見直しは困難である。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	広域農道は経年劣化が進んでおり、維持管理をしていくために最低でも現像維持が必要である。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定			終期設定		
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。